



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

7 | 14 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3149号

購読料/半年32,180円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

## 物流施設開発 関東エリア強化

### 久喜・板橋で着工へ

#### 大和ハウス 特化型の比率向上

【吉田英行】大和ハウス工業は、関東エリアでの物流施設の開発を強化する。十一月に埼玉県久喜市で敷地面積二万二千五百平方メートルの施設建設に着手するほか、十一月には東京都板橋区で免震構造地上六階建て施設も着工。建設の請負からの脱却を目指す「Dプロジェクト」の一環で、各機能に特化した専用センターの比率を高めるほか、物流会社との資本提携などテナントの事業にも積極的に参画していく。

十一月に着工するのは、敷地面積一万平方メートル「Dプロジェクト久喜倉庫」、免震プレキャスト工構「DプロジェクトA棟」(埼玉 法鉄筋コンクリート造り久喜市)。東北自動車六階建てで、延べ床面積道・久喜インターチェンジ 三万五千平方メートル。一〇〇シ(IC)から三キロの好年二月の完成を予定して立地で、都心部や北関東に

いる。敷地面積二万二千平方メートル、鉄筋コンクリート・鉄骨造り三階建て、延べ床面積二万八千平方メートル。自動車部品、食品、雑貨などに適したセンターで、既に、テナントとして雑貨卸売業者一社の入居が内定。二〇〇九年四月の竣工を目指している。

一方、十二月着工予定の「Dプロジェクト高島平」(東京都板橋区)は、都営地下鉄三田線西高島平駅から徒歩二分と電車通勤にも便利な立

保している。アパレル、平方メートル、延べ床面積一万七千八百平方メートルで、食品加工などの作業も可能。また、このほか、十月着工の「Dプロジェクト新三郷」(埼玉県三郷市)は、敷地面積二万八千

平方メートル、延べ床面積二万平方メートル、トラックパース三十分、エレベーター五基を備え、はり下有効高五・五メートル、一平方メートル当たりの床耐荷重は一・五トを確保している。

スキーム作り、移転後の不動産活用までをサポートするもの。大和ハウス高めの差別化を図っている。物流会社と資本提携するなど事業にも積極的に参画することで、より二一〇〇年に合った物流施設の提案が可能になる。Dプロジェクトの関東エリアでの開発敷地面積は、建設中も含め計九十平方メートル。一般貨物向けのマルチテナント型のほか、食品、低温物流、広範に募りたい」と話し

同社東京支社建築事業部の浦川竜哉事業部長は「建設を請け負うだけでなく、物流会社に投資・出資するなどして事業に加わり、ニーズをいち早く察知している。関東エリアを中心に開発に力を入れており、テナントを